

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	児童デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025 年 10 月 19日 ～ 2025 年 11 月 10 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025 年 12 月 15日 ～ 2025 年 12 月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 1 月 18 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様一人ひとりの状況や意向を丁寧に把握し、個別支援計画に基づいた支援を行っていること。	利用者一人ひとりの思いや状況を丁寧に把握するため、職員一人ひとりが日々の関わりや声かけを大切にしている。	今後は支援の振り返りや評価をより充実させることで、支援の質のさらなる向上が図れるようにしていきたい。
2	昨今の情勢や社会風潮を鑑みて各ご家庭の事情に寄り添いながら、各ご家庭のご希望の送迎時間に沿うように調整し送迎を行っていること。	各ご家庭の希望状況などの丁寧な聞き取り。現状の送迎と照らし合わせて、ご家庭や利用者様になるべく負担の無い様な送迎時間のご提案を行っている。	現状保護者様からも一定の評価を頂けているので、引き続き安定してサービスが提供出来る様にしていきたい。
3	利用者様が安心して過ごせるよう、環境整備や安全配慮に継続して取り組んでいること。	利用者様が安心して過ごせるよう、危険箇所の確認や整理整頓、利用者様の特性に応じた環境調整を行い、安全配慮に継続して取り組んでいる。	今後はリスク管理やマニュアルの見直しを進めることで、より安全で信頼される事業所運営を行ってきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務内容や役割分担により、職員ごとの負担に差が生じていることがある。	業務の属人化により、特定の職員に負担や判断が集中しやすい、組織全体での対応が十分に行えていないことが要因となっている。	今後は業務の見直しや分担の調整を行い、働きやすい職場環境づくりを構築していきたい。
2	バスレクやお出掛けのご要望が保護者様アンケートの回答を見ると多数あったが、ご希望に沿えるほど実施できなかった。	昨今の情勢を鑑みて実施を見送ってしまった、規模感の検討で見送ってしまったこと。	昨年より一回でも多くお出掛けイベントが立案できるように小規模な物から確実に実施していきたい。
3	支援に対する考え方や経験の違いにより、対応に差が出る場合がある。今後はケース検討や情報共有を通じて、支援の統一を図ってきたい。	職員の経験年数や専門性に差があることから、支援に対する捉え方や対応にばらつきが生じている。	今後はケース検討や情報共有を通じて、支援の統一を図ってきたい。